

資料 2	令和5年度 第2回 佐倉市高齢者福祉・ 介護計画推進懇話会 (令和5年8月10日)
------	--

第8期〔令和3年度～令和5年度〕
佐倉市高齢者福祉・介護計画

進行管理・点検評価について
【 令和4年度 】

高 齢 者 福 祉 課

介 護 保 険 課

目次

1. 佐倉市の高齢者人口 高齢者人口・高齢化率の推移	1
2. 進行管理・点検評価の実施	
(1) 進行管理・点検評価の実施方法について	2
(2) 令和4年度 進行管理(進捗状況)について	3
(3) 令和4年度 重点施策の評価(課題・対応)について	4
※参考資料 令和3年度実績の評価内容	6
(4) 令和4年度 評価(総合)について	7
3. 第8期 佐倉市高齢者福祉・介護計画 施策の進捗状況一覧	
第1章「生きがい・介護予防」～地域で支え合いながら活躍する高齢者へ～	8
1 社会参加の促進と敬老意識の高揚	8
(1) 高齢者の生きがいにつながる情報の提供	
(2) 学習機会の確保	
(3) 活動機会の確保	
(4) 敬老事業の推進	
2 いきいき健康づくり	10
(1) 健康づくりの推進	
(2) スポーツ活動の推進	
3 介護予防の総合的な推進	10
(1) 一般介護予防事業	
(2) 介護予防・生活支援サービス事業	
第2章「安心な生活の確保」～住み慣れたまちで自分らしく暮らすために～	12
1 安心できる在宅福祉サービスの提供	12
(1) ひとり暮らし・高齢者世帯を支える在宅福祉サービス	
(2) 在宅生活における介護者等への負担軽減	
(3) 見守り支援・もしもの時の支援	
2 認知症にやさしい佐倉の推進	13
(1) 認知症の理解を深めるための普及・啓発	
(2) 予防	
(3) 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援	
(4) 認知症バリアフリー、若年性認知症の人の支援、社会参加支援	
3 権利擁護と地域での見守り	15
(1) 成年後見制度	
(2) 地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)	
(3) 高齢者の虐待防止	
(4) 養護老人ホームへの適切な入所措置	
4 在宅生活を支える体制の充実	15
(1) 生活支援体制の整備	
(2) 地域ケア会議の推進	
5 高齢者が暮らしやすい住環境の整備	16
(1) 福祉のまちづくり推進	
(2) 安心して利用できる交通基盤の整備	
(3) 高齢者が生活しやすい住まいの整備	
6 地域包括支援センターの運営	17
(1) 安定した事業運営	
(2) 多様な相談体制(総合相談)	
(3) 専門職による介護支援専門員の支援体制	
(4) 圏域間の連携	
(5) 地域包括支援センターの事業評価	
7 災害・感染症対策の推進	18
(1) 災害への対応	
(2) 感染症等による健康危機への対応	
第3章「医療・介護」～いつまでも自分らしく生きるために～	19
1 在宅医療・介護の連携と推進	19
(1) 医療・介護連携における課題の把握と対応策の検討	
(2) 医療・介護関係者に対する相談体制の構築	
(3) 地域住民への普及啓発	
(4) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築・推進	
2 介護保険制度の適正な運営	19
(1) 介護保険サービスの推進	
(2) 介護保険制度の円滑な運営や給付の適正化	
(3) 介護サービスの質の向上	
(4) 介護保険などに関する情報の提供・周知啓発	
4. 高齢者いきいき応援事業 実施報告書	21

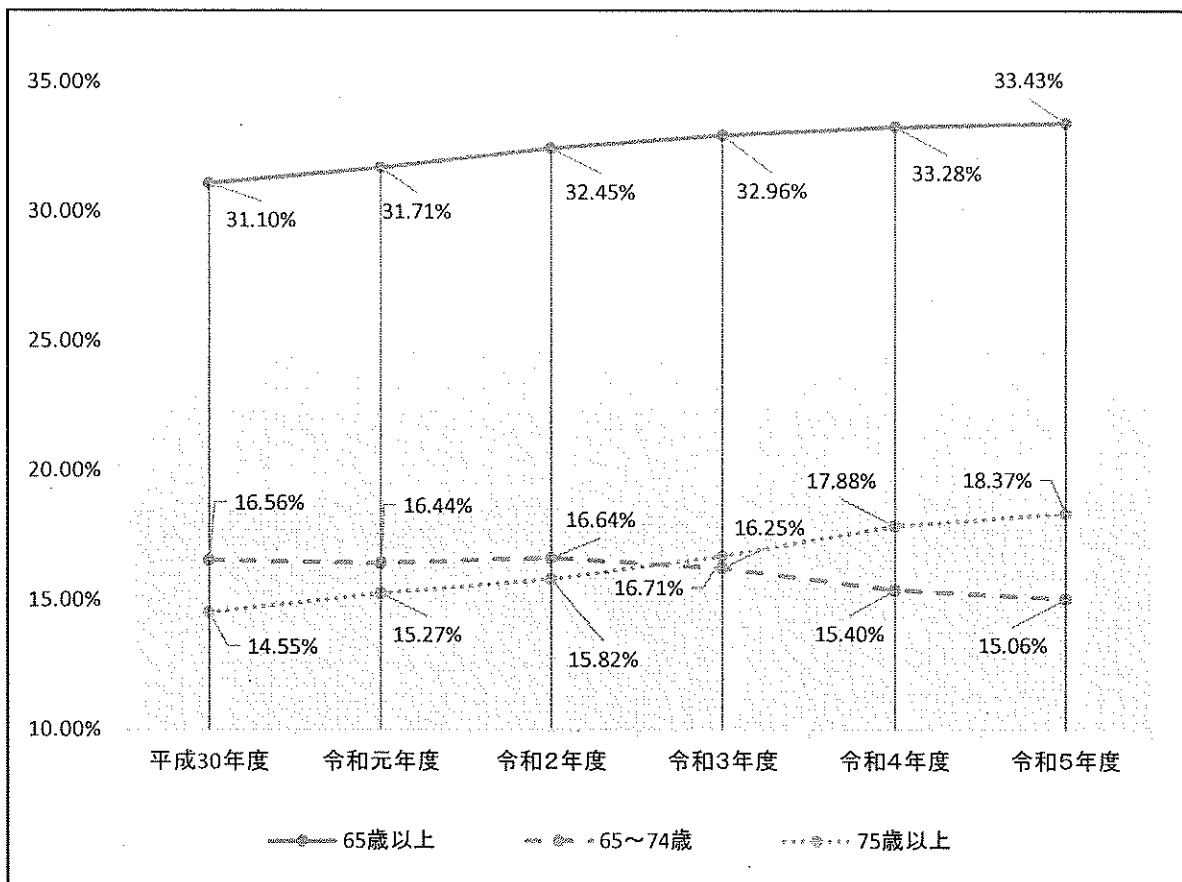
1. 佐倉市の高齢者人口

「高齢者人口の推移」

[単位:人]

区分	第7期 (実績)			第8期(推計)		
	平成30年度 (2018年) H31.3.31	令和元年度 (2019年) R2.3.31	令和2年度 (2020年) R3.3.31	令和3年度 (2021年) R4.3.31	令和4年度 (2022年) R5.3.31	令和5年度 (2023年) R5.9.30
全人口	175,476	174,695	173,216	171,747	171,037	170,709
40歳未満 全人口比	61,766 35.20%	60,429 34.59%	58,562 33.81%	56,996 33.19%	56,109 32.81%	55,726 32.64%
40~64歳 全人口比	59,135 33.70%	58,868 33.70%	58,438 33.74%	58,144 33.85%	58,005 33.91%	57,909 33.92%
65歳以上 全人口比	54,575 31.10%	55,398 31.71%	56,216 32.45%	56,607 32.96%	56,923 33.28%	57,074 33.43%
65~74歳 全人口比	29,051 16.56%	28,715 16.44%	28,819 16.64%	27,903 16.25%	26,345 15.40%	25,717 15.06%
75歳以上 (全人口比)	25,524 14.55%	26,683 15.27%	27,397 15.82%	28,704 16.71%	30,578 17.88%	31,357 18.37%

「高齢化率の推移」



2. 進行管理・点検評価の実施

「佐倉市高齢者福祉・介護計画」は、佐倉市の高齢者福祉及び介護保険事業運営にかかる基本理念・基本目標を定めるとともに、その実現のための施策を定めるため策定する計画です。

第8期佐倉市高齢者福祉・介護計画の計画期間は、令和3年度から令和5年度までの3カ年です。

基本理念 みんなで支え合い、よろこびが生まれる都市・佐倉

基本目標 可能な限り住み慣れた地域で日常生活を営むことができるよう、地域包括ケアシステムの構築、推進を図る。

本計画に基づく事業の実施状況や効果、課題などについては、関係会議において報告・協議し、事業が円滑に実施されるよう努めております。

また、得られた進捗状況や評価、課題については、適正な事業実施を図るため、運営や事業見直し時に反映・改善が図られることや、事業の進行管理及び点検評価が効率的に行えるよう、佐倉市高齢者福祉・介護計画推進懇話会においても、ご意見を頂いております。

(1) 進行管理・点検評価の実施方法について

第8期「佐倉市高齢者福祉・介護計画」では、7ページ以降に示すように、第1章から第3章となる、各種施策を定めています。

各施策では、その取組みが数値等による進捗状況も把握できるよう指標の計画値を採用するよう努めていますが、取組みにあっては指標を採用できないものもあります。

- はじめに、各施策の進行管理(進捗状況)を実施します。結果にあたっては、
- ①取組みに指標(計画値)があるものは《測定評価》を実施し、概要を記入します。
 - ②取組みに指標がないものは、《進捗評価》を実施し、概要を記入します。
- その結果を各章ごとや重点施策等に区分し、年度結果を集計し、進捗状況とします。

次に、計画の重点施策について、評価を実施します。

介護保険法第117条では、第8期計画に定めた「被保険者の地域における自立した日常生活の支援、要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止及び介護給付等に要する費用の適正化への取組及び目標」について、自己評価し、その結果を公表するように努めるよう規定されています。

これらの内容は、第8期計画の重点項目ともなりますので、その自己評価結果も活用し、課題及び対応策を明確にします。

これらの進行管理及び評価・課題・対応方針等により、各年度の評価(総合)を実施します。

実施結果は第8期計画の推進に向け、効果的な事業管理を図ります。

(2) 令和4年度 進行管理(進捗状況)について

各施策の進行管理(進捗状況)は次のとおり実施します。

指標の計画値 有の場合

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
通しNo. 〇〇〇〇〇 事業	利用人数 (人)	R3	50	45	90.0%	記入済
		R4	55	50	90.9%	実施状況の内容や成果、課題や実施できない場合の状況等を簡略に記入
		R5	60			↑ 実績値/計画値の割合(自動判定)

※取組名ごとに評価集計します。1つの取組名で指標が複数の場合は測定結果の平均を基本とし評価集計します。

指標の計画値 無の場合

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
通しNo. 〇〇〇〇〇 事業	設定無	R3	○	記入済
		R4	△	実施状況の内容や成果、課題や実施できない場合の状況等を簡略に記入
		R5		↑ 進捗状況を選択 ◎優良 ○おおむね良好 △やや低調 ×低調

令和4年度の施策121件の取組の進捗状況を各章・通常施策と重点施策、指標の有無で区分した実施結果を次の表のとおり集計しました。

また、指標の有無の区分を評価区分A・B・C・Dで集計したものを「実施結果 計」として表しています。

区分	指標 有 施策				指標 無 施策				評価 計			
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
実施結果 (自己評価)	100% 以上	75.0~ 99.9%	50.0~ 74.9%	50% 未満	◎ 優良	○ おおむ ね良好	△ やや 低調	× 低調	優良	良好	やや 低調	低調
第1章	通常21	4	5	5	3	2	2		6	7	5	3
	重点16	2	5	6	1	1	1		3	6	6	1
	37 計	6	10	11	4	3	3	0	0	9	13	11
第2章	通常45	11	4			18	12		29	16	0	0
	重点22	2	1	2		8	9		10	10	2	0
	67 計	13	5	2	0	26	21	0	0	39	26	2
第3章	通常 4					3	1		3	1	0	0
	重点13	1		1		8	2	1	9	2	2	0
	17 計	1	0	1	0	11	3	1	0	12	3	2
合計	20	15	14	4	40	27	1	0	60	42	15	4
121 施策					53				68			121

【令和4年度 進行管理(進捗状況)の概要】

重点・通常事業とも、指標有施策ではAが37.7%(20/53)と最も多く、指標無施策ではAが58.8%(40/68)と最も多くなっています。

また、結果計にあってもB以上が84.3%((60+42)/121)となっています。CやDの結果は19施策です。コロナ禍による施設等の利用方法の制限等がまだ影響しています。

令和3年度実績と比較(6ページ参照)すると、指標有ではAが増加、指標無ではBが増加となっています。また、指標無でのCの改善・低下もありました。

今後も、全体的に統一した評価を実施し、点検・評価を推進していく必要があります。

これらのことより、令和4年度各施策は堅実にすすめていることが判断できます。

(3) 令和4年度 重点施策の評価(課題・対応)について

第8期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

項目 番号	区分	取組	第8期計画における具体的な取組	章	取組No.	
		目標	第8期計画における事業内容、指標等			
		結果	実施内容			
		課題と対策				
1	① 自立支援、介護予防、重度化防止	取組	在宅生活を支える体制の充実 (生活支援体制の整備)	第2章-4-(1)	取組No. 77	
		目標	協議体の開催 20回			
		結果	協議体の開催 14回			
		課題と対策	目標回数には届かなかったが、コロナ禍においても、リモート会議や十分な感染防止対策を施した上で協議体を開催した。また、左記の開催数のほか、主催以外の協議体(自治会・地域団体等にこちらから出向いて実施したもの)を33回開催し、地域の課題抽出や生活支援に関する資源の開発等に関する話し合いの場を持つことができたため、今後も継続していく。			
2		取組	介護予防の総合的な推進 (介護予防普及啓発事業)	第1章-3-(1)	取組No. 22	
		目標	介護予防教室等の開催:950回			
		結果	介護予防教室等の開催:561回			
		課題と対策	新型コロナウイルス感染症により高齢者の介護予防団体が活動を休止をし、アウトリーチによる介護予防を行う機会が減少した。参集型の介護予防教室等については参加人数を制限しながら実施を行った。介護予防ボランティアの活躍の場とし、介護予防教室等を活用することができた。新型コロナウイルス感染症の心理的影響も残る中、安心して参加できる環境と感染症予防の正しい知識の普及に努めるとともに、教室等の情報ができるだけ多くの高齢者に届くよう、周知方法についても検討を行う。			
3		取組	介護予防の総合的な推進 (地域介護予防活動支援事業)	第1章-3-(1)	取組No. 23~26	
		目標	・介護予防ボランティア登録者:200人、・地域介護予防活動支援事業補助金の交付:50団体、・週1回以上活動する通いの場:100か所			
		結果	・介護予防ボランティア登録者:185人、・地域介護予防活動支援事業補助金の交付:30団体、・週1回以上活動する通いの場:77か所			
		課題と対策	通いの場については感染状況に合わせ、自主的に活動休止再開を繰り返しながらも継続して行う団体も多くあった。感染対策、熱中症予防、フレイル予防のチラシを配布し活動の支援を行った。介護予防ボランティアの育成を行うことで、活動が継続できるよう支援を行う。			
4		取組	介護予防の総合的な推進 (介護予防・生活支援サービス事業)	第1章-3-(2)	取組No. 30-35	
		目標	・住民主体による生活援助サービス提供団体への補助:11団体 ・法人と住民が共同しておこなう通所型サービス団体への補助:2団体			
		結果	・住民主体による生活援助サービス提供団体への補助:6団体 ・法人と住民が共同しておこなう通所型サービス団体への補助:2団体			
		課題と対策	住民が自ら担い手として活動する多様なサービスを引き続き維持していくため、住民や団体のニーズを把握しながら、団体への補助を継続していく。			

項目番号	区分	取組	第8期計画における具体的な取組	
		目標	第8期計画における事業内容、指標等	
		結果	実施内容	
		課題と対策		
5	① 自立支援、介護予防、重度化防止	取組	認知症にやさしい佐倉の推進 (認知症の理解を深めるための普及啓発)	第2章-2-(1) 取組No. 53
		目標	・認知症サポーター養成講座の開催:40回、・認知症サポーター受講者:600人	
		結果	・認知症サポーター養成講座の開催:30回、・認知症サポーター受講者:618人	
		課題と対策	一般公募の講座の他、小、中学校、自治会等からの依頼もあり、地域住民の認知症に対する関心の高さがうかがえる。他方、職域、企業への養成講座については薬局、介護事業所のみと偏りが見られるため、職域への普及啓発について検討する。	
6		取組	認知症にやさしい佐倉の推進 (認知症の人と介護者を支えるネットワーク強化とやさしい地域づくり)	第2章-2-(3) 取組No. 58~60
		目標	・認知症初期集中支援チーム:5か所、・認知症地域支援推進員の配置:5人、・オレンジカフェ開設:9か所、	
		結果	・認知症初期集中支援チーム:5か所、・認知症地域支援推進員の配置:5人、・オレンジカフェ開設:5か所	
		課題と対策	認知症初期集中支援チームは5圏域で活動し、困難事例については基幹型初期集中支援チームで対応する等、階層的な対応ができた。オレンジカフェについて、少人数で飲食を伴わない内容での開催や、地域における見守り活動、カフェ参加者への声掛け等を行い、認知症の人や家族の支援、つながりを継続できた。今後は新規会場の立ち上げ支援等を実施していく。	
7	② 介護給付等費用の適正化	取組	サービスの質の担保 (事業者への指導・監査)	第3章-2-(2) 取組No. 112
		目標	・集団指導:2回 ・実地指導:20回	
		結果	・集団指導:1回 ・実地指導:18回	
		課題と対策	2回、事業所の都合で実施できなかったが、概ね予定通り実施できた。コロナにより実施できなかった過去2年間分の事業所数の分多く実施していかねばならないが、現状は追いついていない。引き続き事前審査を行えるよう書類の提出を求め、当日の指導時間短縮を図ることで、年間を通してコンスタントに実施できるスケジュールを組む。	
8		取組	介護給付適正化事業の推進	第3章-2-(2) 取組No. 114
		目標	・適正化主要5事業の実施数:5事業	
		結果	・適正化主要5事業の実施数:5事業	
		課題と対策	令和3年度から導入したシステムを、令和4年度は人員不足からなかなか利用することができなかったため、次年度以降効率的にシステムの活用を進める。	

参考資料

○令和3年度実績の施策評価の状況

区分	指標 有 施策				指標 無 施策				評価 計					
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D		
実施結果 (自己評価)	100% 以上	75.0~ 99.9%	50.0~ 74.9%	50% 未滿	◎ 優良	○おおむ ね良好	△やや 低調	× 低調	優良	良好	やや 低調	低調		
第1章 37	通常21	3	7	2	5	2	2			5	9	2	5	
	重点16	2	4	7	1	1	1			3	5	7	1	
	計	5	11	9	6	3	3	0	0	8	14	9	6	
第2章 67	通常45	9	5	1		20	10			29	15	1	0	
	重点22	2	1	1	1	8	8	1		10	9	2	1	
	計	11	6	2	1	28	18	1	0	39	24	3	1	
第3章 17	通常4					3	1			3	1	0	0	
	重点13	1			1	8	3			9	3	0	1	
	計	1	0	0	1	11	4	0	0	12	4	0	1	
合 計	17	17	11	8	42	25	1	0	59	42	12	8		
121 施策					53					68				

○令和3年度実績の評価(総合)の状況

施策の進行管理(進捗状況)では、コロナ禍による施設使用方法の制限による影響を除くと、各施策項目において堅実に進められていると判断できます。

重点施策の評価(介護保険法に規定する自己評価)項目の、①自立支援・介護予防・重度化防止、②介護給付等費用の適正化でも、コロナ禍の影響を大きく示している。対策にもあるように、コロナ禍での対応や活動再開時の対応を整理して、活動の継続が図られるよう進めていく必要があります。

第8期佐倉市高齢者福祉・介護計画(令和3~5年度)の進行管理・点検評価を、令和3年度分について実施しました。

コロナ禍ではあるが、各施策項目については対策等を講じながら推進されています。

施策項目だけでは内容が分かりづらい面もありますが、今回の進行管理を期に計画内容の更なる把握と課題の発掘がなされ、計画の推進に繋がるよう進めてまいります。

(4) 令和4年度 評価(総合)について

令和4年度も、引き続き新型コロナウイルス感染症対策(コロナ禍)により、活動の制限等は徐々に緩和されたが、基本的な対処方針は実施された。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策について(市ホームページより抜粋)

	発表日	区 分	内 容	期 日 等
参 考	4/28	5類感染症への移行	2類→5類移行	令和 5年 5月 8日～
	2/17	感染拡大防止対策	見直し	令和 5年 3月13日～ 5月 7日
	2/10	マスク着用の考え方	見直し	令和 5年 3月13日～個人の判断
	2/6	感染症レベル移行	3→2へ移行	
	1/27	感染拡大防止対策	継続	基本的対処方針、イベント開催制限目安
	1/12	感染症レベル移行	2→3へ移行	
	9/14	感染拡大防止対策	解除	BA.5対策強化宣言、基本的対処方針は継続
	8/29	感染拡大防止対策	継続	基本的対処方針、BA.5対策強化宣言
	8/4	感染拡大防止対策	継続	基本的対処方針、BA.5対策強化宣言
	7/19	感染拡大防止対策	継続	基本的対処方針
	5/10	屋外におけるマスク着脱実践例について		令和 4年 5月10日
	3/17	まん延防止等重点措置	解除	令和 4年 3月21日

基本的対処方針

感染症予防対策の継続により、対策の徹底が周知・複数回の予防(ワクチン)接種も進みました。また、マスク着用の考え方の見直しや感染症レベル等の移行・変化等により行動が拡大しました。一方、時には感染症対策を実施しても、高齢者施設等での感染者が発生する状況がありました。

施策の執行にあたっては、これまでの経験や知識を活用し、基本的な感染対策の実施、密を避ける・リモートによる会議等の開催により、会議や行事が実施されました。

令和4年度は、市の高齢者人口における75歳以上の人口比率が、65歳以上74歳以下の人口比率に比べて2.48ポイント上回り、後期高齢者の人口比率が高まっています。活力ある高齢者が多い市ではありますが、長引く感染症対策の影響が、高齢者の活動に影響を与えている状況があったと思われます。

施策の進行管理(進捗状況)では、コロナ禍による施設使用方法の制限による影響を除くと、各施策項目において改善もみられ、進められていると判断できます。

重点施策の評価(介護保険法に規定する自己評価)項目の、①自立支援・介護予防・重度化防止、②介護給付等費用の適正化でも、引き続きコロナ禍の影響が示されています。各項目の課題と対策にもあるように、コロナ禍での対応や活動再開時の対応を整理して、活動の継続が図られるよう進めていく必要があります。

第8期佐倉市高齢者福祉・介護計画(令和3～5年度)の進行管理・点検評価を、昨年度に続き、令和4年度分について実施しました。

コロナ禍ではあったが、各施策項目については対策等を講じながら推進されています。

また、地方創生臨時交付金を活用して、高齢者の外出支援と介護予防につながるための「高齢者いきいき応援事業」の実施も、福祉の増進に繋がる効果はあったものと判断します。

今後も、計画内容の更なる把握と課題の発掘がなされ、計画の推進に繋がるよう進めてまいります。

3. 第8期 佐倉市高齢者福祉・介護計画 施策の進捗状況一覧

第8期 計画〔令和3年～令和5年度〕

※ 重点施策

第1章 「生きがい・介護予防」～地域で支え合いながら活躍する高齢者～

1 社会参加の促進と敬老意識の高揚

(1) 高齢者の生きがいにつながる情報の提供

① 高齢者の生きがいにつながる各種情報の発信

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
1 高齢者の生きがいに関する情報の発信	情報周知した回数(回)	R3	2	2	100.0%	7/1号こほう佐倉「ほつらつ健康・福祉特集号」を発行、各施設にも配布。サービスや役立ち資料の「高齢者を支える地域資源ブック」を作成、配架・HP公表。 7/1号こほう佐倉「ほつらつ健康・福祉特集号」を発行、配架。「高齢者を支える地域資源ブック」をHP更新。いきいき応援事業でもパンフレット配布。
		R4	2	3	150.0%	
		R5	2			

(2) 学習機会の確保

① 公民館等における生涯学習等の推進

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
2 市民大学講座運営事業	講座の開催館数(館)	R3	4	4	100.0%	コロナ禍により事業縮小等もあるが、中央・臼井・志津・根郷公民館で市民大学を実施。 中央公民館・臼井公民館・志津公民館・根郷公民館で市民大学を実施。
		R4	4	4	100.0%	
		R5	4			

② 各種出前講座の実施

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
3 地域での出前講座の実施	設定無	R3	○	職員による出前講座実施。市民カレッジ他9回。
		R4	○	職員による出前講座を、市民カレッジほか23回実施。
		R5		

(3) 活動機会の確保

① 地域活動の推進(高齢者クラブ活動への支援、老人憩いの家の管理運営、ボランティア活動への支援、各種公共施設における各種活動の推進、世代間交流を育む活動の推進)

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
4 高齢者クラブ活動支援事業	周知回数(回)	R3	3	2	66.7%	広報(健康福祉特集号)、市ホームページでの周知を実施。
		R4	3	2	66.7%	
		R5	3			
	単位クラブ数(クラブ)	R3	58	49	84.5%	コロナ禍による事業中止等影響あり。単位クラブ数減、総会員数は2,201人
		R4	58	44	75.9%	
		R5	58			

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
5 老人憩いの家管理運営事業	利用者数(人)	R3	28,000	7,535	27.0%	コロナ禍影響有。うすい荘362件・2,621人、千代田荘313件・2,609人、志津荘171件・2,305人 コロナ禍影響有。うすい荘444件・3,182人、千代田荘333件・2,890人、志津荘347件・4,469人
		R4	28,000	10,541	37.7%	
		R5	28,000			

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
6 個人ボランティア登録事業	利用者数(人)	R3	280	186	66.5%	佐倉市ボランティアセンターの実績。(活動の相談・支援、ネットワークづくり、養成・研修、情報発信、活動支援、調査研究を実施している。) 佐倉市ボランティアセンターの実績。(活動の相談・支援、ネットワークづくり、養成・研修、情報発信、活動支援、調査研究を実施している。)
		R4	280	188	67.2%	
		R5	280			

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
7 市民公益活動サポート管理運営事業	登録団体数(団体)	R3	180	170	94.5%	活動団体相互の交流、情報提供、会議や印刷作業の活動拠点とともに、市民公益活動団体の交流や推進のための支援を継続 団体活動拠点提供、印刷支援、団体資料の配布・取次等を継続して実施。「市民公益活動情報サイト」をリニューアルし、団体の情報発信機能を強化。
		R4	180	166	92.3%	
		R5	180			

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
8 公民館管理運営事業	利用者数(人)	R3	250,000	123,604	49.5%	コロナ禍により利用方法等の制限有。 コロナ対策により利用方法等の制限有。
		R4	250,000	163,790	65.6%	
		R5	250,000			

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
9 コミュニティセンター管理運営事業	利用者数(人)	R3	293,267	84,106	28.7%	コロナ禍により利用方法等の制限有。 コロナ禍により利用方法等の制限有。
		R4	294,713	129,524	44.0%	
		R5	296,173			

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
10 地域福祉センター管理運営事業	利用者数(人)	R3	130,000	56,143	43.2%	コロナ禍により利用方法等の制限有。 増加であるが以前には届かない。(コロナ禍の影響も有)
		R4	130,000	88,347	68.0%	
		R5	130,000			

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
11 児童センター管理運営事業	利用者数(人)	R3	149,328	52,051	34.9%	コロナ禍により利用方法等の制限有。
		R4	150,279	72,296	48.2%	コロナ禍により利用方法等の制限有。
		R5	151,230			

②就労支援(佐倉市シルバー人材センターへの支援、高齢者福祉作業所の活用、高齢者のための就業に関する相談及び情報提供)

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
12 シルバー人材センター補助事業	会員数(人)	R3	1,200	1,009	84.1%	R2年度1,081人。微減。(コロナ禍の影響も有。)
		R4	1,200	1,025	85.5%	増加であるが以前には届かない。(コロナ禍の影響も有。)
		R5	1,200			
	就業延人数(人)	R3	115,000	103,679	90.2%	R2年度99,666人。増加であるが以前には届かない。(コロナ禍の影響も有。)
		R4	115,000	105,056	91.4%	増加であるが以前には届かない。(コロナ禍の影響も有。)
		R5	115,000			
	年間就業率(%)	R3	90.0	82.2	91.4%	R2年度84.3%。微減。(コロナ禍の影響も有。)
		R4	90.0	81.8	90.9%	微減。(コロナ禍の影響も有。)
		R5	90.0			

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
13 レインボープラザ佐倉管理運営委託事業	利用団体数(団体)	R3	130	128	98.5%	コロナ禍により利用方法等の制限有。
		R4	130	128	98.5%	コロナ禍により利用方法等の制限有。
		R5	130			
	利用者数(人)	R3	1,230	1,051	85.5%	コロナ禍により利用方法等の制限有。
		R4	1,230	1,083	88.1%	コロナ禍により利用方法等の制限有。
		R5	1,230			

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
14 シルバー人材センター入会説明会	参加者数(人)	R3	320	189	59.1%	説明会参加者のうち、108名が会員に入会。入会率は57%。
		R4	320	203	63.5%	説明会参加者のうち、133名が会員に入会。入会率は66%。
		R5	320			
15 地域職業相談室運営事業	利用者数(人)	R3	10,000	9,796	98.0%	市とハローワークが協力して設置運営。情報提供や各種機関の紹介など、高齢者等の就業機会の確保に向けた活動を継続。
		R4	10,000	7,915	79.2%	市とハローワークが協力して設置運営。情報提供や各種機関の紹介など、高齢者等の就業機会の確保に向けた活動を継続。
		R5	10,000			

(4) 敬老事業の推進 ①おじいちゃん・おばあちゃんありがとうの気持ちを伝えたい事業の推進

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
16 おじいちゃん・おばあちゃんありがとうの気持ちを伝えたい事業	実施地区数(地区)	R3	7	14	200.0%	R2年度事業開始・6地区社協、R3年度は全地区社協で実施
		R4	7	14	200.0%	全地区社協で実施
		R5	7			
	敬老率(%) ※	R3	80	94	117.5%	コロナ禍において、実施地区が増加。事業の活用が進んでいる。
		R4	80	91	113.9%	R3年度につづき全地区社協で実施しており事業が浸透してきている。
		R5	80			

※お年寄り(地域貢献活動を行っているお年寄り)に対して尊敬していると感じる市民の割合

②敬老祝金の贈呈

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
17 敬老祝金贈呈事業	対象者への通知件数(件)	R3	115	113	98.3%	対象者の実績(祝99歳:63人[贈呈金額2万円]、祝100歳:50人[贈呈金額5万円])
		R4	115	122	106.1%	対象者の実績(祝99歳:78人[贈呈金額2万円]、祝100歳:44人[贈呈金額5万円])
		R5	115			

2 いきいき健康づくり

(1)健康づくりの推進	①心とからだの健康づくり							
	18	取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要		
		設定無		R3	◎	誰でもできる筋力トレーニングとして、佐倉市オリジナル体操を開催(協力:順天堂大学)ホームページへの掲載、体験会も開催。		
		健康寿命の延伸につながる取組みを推進		R4	◎	誰でもできる筋力トレーニングとして、佐倉市オリジナル体操を開催(協力:順天堂大学)ホームページへの掲載、体験会も開催。こころの健康に関する知照の啓発・相談窓口等の情報提供を実施(こころの健康相談・講演会・ホームページ等)		
			R5					
	②歯と口腔の健康づくり							
	19	取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要		
		設定無		R3	◎	保健事業や介護予防事業において普及啓発を実施。(食生活改善推進員養成講座・出前健康講座・通所型短期集中予防サービス・低栄養予防・口腔教室)		
		市民の歯と口腔の健康づくりを計画的に推進		R4	◎	保健事業や介護予防事業において普及啓発を実施。(食生活改善推進員養成講座・出前健康講座・通所型短期集中予防サービス・低栄養予防・口腔教室・高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業)		
			R5					
	③はり、きゅう、マッサージ等利用助成							
	20	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
		はり・きゅう・マッサージ等施設利用助成事業	申請者数(件)	R3	3,800	3,125	82.3%	R2年度3,200人。微減。(コロナ禍の影響も有。)
				R4	3,800	3,103	81.7%	前年度比:微減。
				R5	3,800			
		発行枚数(枚)	R3	42,000	34,704	82.7%	R2年度35,418枚。微減。(コロナ禍の影響も有。)	
			R4	42,000	34,428	82.0%	前年度比:微減。	
			R5	42,000				
助成券利用率(%)		R3	48.0	51.2	106.7%	利用枚数17,770枚、助成総額10,662,000円。(コロナ禍の影響も有。)		
		R4	48.0	50.6	105.5%	利用枚数17,436枚、助成総額10,461,600円。		
	R5	48.0						
(2)スポーツ活動の推進	ライフステージに応じた健康・体づくり(佐倉市スポーツ振興計画)の取り組みとして、高齢者のスポーツ活動を推進							
	21	取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要		
		設定無		R3	○	介護予防教室、わくわく体操会等の普及啓発活動を376回実施(市33回、包括343回)。わくわく体操会の団体支援28回、新規立ち上げ団体支援1団体実施。高齢者クラブのスポーツ活動を支援。佐倉市高齢者クラブ連合会および単位クラブの活動を支援、介護予防講座、わくわく体操会などの介護予防に関する普及啓発活動を285回(市64回、包括221回)、わくわく体操会の新規立ち上げを1団体実施しました。		
高齢者のスポーツや仲間づくり活動を推進			R4	○				
		R5						

3 介護予防の総合的な推進

(1)一般介護予防事業	①介護予防把握事業 ②介護予防普及啓発事業							
	22	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
		介護予防教室等の開催	回数(回)	R3	950	376	39.6%	介護予防教室や住民主体の通いの場づくりの、わくわく体操会などを376回実施(市33回、包括343回)。市の広報紙・HP、地区回覧等を利用して周知を実施。
				R4	950	561	59.1%	介護予防教室や住民主体の通いの場づくりの、わくわく体操会の立ち上げ支援などを561回実施(市64回、包括497回)。市の広報紙・HP等を利用して周知を実施。
	R5			950				
	③地域介護予防活動支援事業 ④地域リハビリテーション活動支援事業							
	23	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
		介護予防ボランティア	登録人数(人)	R3	200	178	89.0%	新型コロナ感染症の影響を受け、養成講座は1回。参加者6名、新規登録者4名。
				R4	210	185	88.1%	新型コロナ感染症の影響を受け、養成講座は1回。参加者10名、新規登録者10名。
	R5			220				
	24	補助金の交付団体	団体数(団体)	R3	50	29	58.0%	地域で介護予防活動を行っている団体に補助金を交付しました。前年度より1団体減。
				R4	50	30	60.0%	地域で介護予防活動を行っている団体に補助金を交付しました。新規交付団体は4団体でした。
				R5	50			
	25	活動支援	回数(回)	R3	180	164	91.2%	感染症対策の確認、継続支援を実施しました。
				R4	185	179	96.8%	
				R5	190			
	26	週1回以上活動する通いの場	か所数(か所)	R3	100	73	73.0%	コロナ禍の影響により減少しています。
				R4	105	77	73.4%	コロナ禍からの再開傾向により昨年度より増加しています。
R5				110				
参加者数(人)		R3	2,000	1,435	71.8%	開催団体数が減少したため、参加者も減少しました。		
		R4	2,100	1,308	62.3%	大幅に参加人数を減らした団体があったため減少しました。		
		R5	2,200					

④地域リハビリテーション活動支援事業

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要	
27	地域ケア会議などで専門職による支援を実施	設定無	R3	○	通いの場、地域ケア会議、個別訪問による相談に必要な応じ対応しました。
			R4	○	通いの場、地域ケア会議、個別訪問による相談に必要な応じ対応しました。
			R5		

(2)介護予防・生活支援サービス事業

①訪問型

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要	
28	訪問介護相当サービス	利用者数(人)	R3	490	487	99.4%	概ね計画値どおり。
			R4	473	470	99.4%	概ね計画値どおり。
			R5	457			
29	訪問型生活支援サービス	利用者数(人)	R3	8	5	62.5%	概ね計画値どおり。
			R4	8	5	62.5%	概ね計画値どおり。
			R5	8			
30	訪問型サービスB補助金の交付	団体数(団体)	R3	11	6	54.6%	令和2年度実績も6団体。今後とも活動団体に対し、後方支援を継続していきたい。
			R4	11	6	54.6%	昨年度に引き続き、6団体。団体数の拡大を図ってきたい。
			R5	11			
31	訪問型短期集中予防サービス	利用者数(人)	R3	5	3	60.0%	対象者が把握された際に随時対応していきます。
			R4	5	1	20.0%	対象者が把握された際に随時対応していきます。
			R5	5			
32	訪問型サービスD補助金の交付	団体数(団体)	R3	2	2	100.0%	令和2年度実績も2団体。今後とも活動団体に対し、後方支援を継続していきたい。
			R4	2	2	100.0%	昨年度に引き続き、2団体。今後とも活動団体に対し、後方支援を継続していきたい。
			R5	2			

②通所型

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要	
33	通所介護相当サービス	利用者数(人)	R3	1,239	919	74.2%	令和2年度実績914人。コロナ禍が続くことで、通所サービスを自粛される方がいるのではと思われる。
			R4	1,318	1,000	75.9%	コロナ禍の影響による減少傾向は続いているが、徐々に回復傾向である。
			R5	1,402			
34	通所型短期集中予防サービス	利用者数(人)	R3	18	11	61.2%	コロナ禍により定員、期間を縮小して開催。
			R4	18	10	55.6%	コロナ禍により定員、期間を縮小して開催。
			R5	18			
35	法人主体の通所型サービス	団体数(団体)	R3	2	2	100.0%	令和2年度実績は1団体。令和3年度は実施法人側において感染予防対策を講じながら事業実施ができた。
			R4	2	2	100.0%	昨年度に引き続き、感染予防対策を講じた上で事業実施を継続した。
			R5	2			

③その他の生活支援サービス

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要	
36	地域ケア会議などによる連携・協働による資源開発等を推進	設定無	R3	◎	個別事例の困りごとから地域課題を抽出し、解決策について話し合う地域ケア圏域推進会議を12回開催した。また、リモート会議等、感染防止対策を講じながら、協議体を5回実施した。
			R4	◎	個別事例の困りごとから地域課題を抽出し、解決策について話し合う地域ケア圏域推進会議を10回、市全体で課題解決に向けて検討する地域ケア推進会議を1回開催した。
			R5		

④介護予防ケアマネジメント

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要	
37	介護予防ケアマネジメント	要支援相当数(人)	R3	3,099	3,016	97.4%	概ね計画値どおり。
			R4	3,229	3,102	96.1%	概ね計画値どおり。
			R5	3,364			
	延べ利用者数(人)	R3	10,120	8,710	86.1%	コロナ禍によるサービス利用の自粛等が原因と思われる。	
		R4	10,120	8,538	84.4%	コロナ禍によるサービス利用の自粛等が原因と思われる。	
		R5	10,120				

第2章「安心な生活の確保」～住み慣れたまちで自分らしく暮らすために～

1 安心できる在宅福祉サービスの提供

(1)ひとり暮らし・高齢者世帯を支える在宅福祉サービス

①高齢者等ふれあい配食サービス

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
38 高齢者等ふれあい配食サービス	配食対象者数(人)	R3	110	138	125.5%	実績値は年度末利用者数。令和2年度実績値は124人。
		R4	115	177	154.0%	実績値は年度末利用者数。
		R5	115			
	延べ配食数(食)	R3	17,680	15,463	87.5%	令和2年度実績値は14,346食。介護サービスと連携した見守り体制をとっており、利用者数は増えているが、1人あたりの平均利用回数が減少し延べ食数は減少した。
		R4	18,480	17,549	95.0%	介護サービスと連携した見守り体制をとっており、利用者数、延べ食数ともに大幅に増加した。
		R5	18,480			

②緊急通報装置の貸与

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
39 緊急通報装置の貸与	貸与対象者数(人)	R3	170	161	94.8%	実績値は平均月利用者数。令和2年度は154人。令和4年度より事業内容を見直し実施。
		R4	170	224	131.8%	実績値は年度末利用者数。
		R5	170			

③高齢者台帳への登録

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
40	設定無	R3	◎	希望者の登録情報は見守りや緊急時対応に備え、民生委員による近況確認や情報更新を実施した。
		R4	◎	希望者の登録情報は見守りや緊急時対応に備え、民生委員による近況確認や情報更新を実施した。
		R5		

(2)在宅生活における介護者等への負担軽減

①紙おむつ等の購入費用助成

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
41 紙おむつ等購入助成事業	申請件数(件)	R3	1,500	1,340	89.4%	R2年度1,247枚。微増。
		R4	1,650	1,426	86.5%	前年度比:微増
		R5	1,800			
	助成券利用実績(件)	R3	21,230	19,651	92.6%	R2年度18,707枚。増加。助成金額29,476,500円。
		R4	23,300	20,990	90.1%	増加。助成金額31,485,000円
		R5	25,600			

②訪問理美容出張費用の助成 ③生活管理指導短期宿泊(ショートステイ) ④福祉タクシー利用料金の助成 ⑤介護者教室

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
42 訪問理容室出張費用の助成	設定無	R3	◎	R2年度～R3年度は、過年度より申請件数及び利用実績が増加した。
		R4	○	R4年度は、申請件数は増加したものの利用実績は減少した。
		R5		
43 生活管理指導短期宿泊(ショートステイ)	設定無	R3	◎	介護保険サービス対象外の高齢者の緊急的な宿泊先として提供した。
		R4	◎	介護保険サービス対象外の高齢者の緊急的な宿泊先として提供した。
		R5		
44 福祉タクシー利用料金の助成	設定無	R3	◎	身体障害者等のほかに、65歳以上で寝たきり高齢者台帳に登録している方にも、利用助成を行っています。
		R4	◎	身体障害者等のほかに、65歳以上で寝たきり高齢者台帳に登録している方にも、利用助成を行っています。
		R5		
45 介護者教室	設定無	R3	◎	介護に関する基本的な知識を学ぶ教室を20回開催し、291人が参加。
		R4	◎	介護に関する基本的な知識やストレス解消法を学ぶ教室を20回開催し、287人が参加。
		R5		

⑥介護者のつどい

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
46 介護者のつどい	開催回数(件)	R3	40	25	62.5%	コロナ禍において、開催計画の一部を中止した。
		R4	40	36	90.0%	コロナ禍において、開催計画の一部を中止したが、前年度よりは開催回数が増加した。
		R5	40			
	延べ参加者数(人)	R3	304	133	43.8%	感染防止対策の観点から、少人数で開催した。
		R4	344	206	59.9%	コロナ禍において少人数開催を継続したが、前年度よりは参加者数が増加した。
		R5	385			

⑦介護マークの交付

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
47	設定無 介護マークの交付及び制度の普及啓発	R3	◎	令和3年度の交付件数は2件。
		R4	◎	令和4年度の交付件数は11件。
		R5		

(3)見守り支援・もしもの時の支援

①安心カードの交付

※令和3年度より配付方法を要申請から備え置き配布に変更したため、指標を測定から進捗に変更

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	進捗	事業に対する概要
48	安心カード配布事業 提供枚数(枚)	R3	60			◎	高齢者福祉課への申請・交付から、公共施設等での自作可能なカード用紙の配布に変更しました。
		R4	70			◎	R4年度備え置き配布枚数812枚。
		R5	80				

②緊急医療情報キットの給付

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
49	高齢者安心キット給付事業 周知回数(回)	R3	2	2	100.0%	広報、ホームページによる市民への周知のほか、警察署及び消防署への周知実施
		R4	2	2	100.0%	広報、ホームページによる市民への周知のほか、警察署及び消防署への周知実施
		R5	2			
	配布数(個)	R3	3,000	2,496	83.2%	R2年度2,549個。微減。
		R4	3,750	3,230	86.2%	増加。
		R5	3,850			

③佐倉市高齢者見守り協力事業者ネットワーク

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
50	設定無 高齢者の異変等の早期対応を図る協定事業者の拡大	R3	◎	年度末登録事業者83事業者。対応マニュアルを作成し、全事業者へ配布した。
		R4	◎	年度末登録事業者86事業者。
		R5		

④2市1町SOSネットワーク

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
51	2市1町SOSネットワーク 検索回数(回)	R3	40	31	77.5%	ネットワーク構成機関と連携し、防災無線、メール配信等による情報提供を実施した。
		R4	40	34	85.0%	ネットワーク構成機関と連携し、防災無線、メール配信等による情報提供を実施した。
		R5	40			
	事前登録者数(ステッカー交付数)	R3	40	35	87.5%	公共施設でのチラシ配架、各種行事でのチラシ配布等により、啓発及び登録促進を進めた。
		R4	40	59	147.5%	チラシ配架・配布等による啓発及び捜索依頼のあった家族への個別案内により登録促進した。
		R5	40			

⑤高齢者見守り事業

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
52	設定無 地域の見守り体制の強化を図る	R3	◎	「気づき」と「つながり」に特化したパンフ・チラシ等を作成。世帯回覧、佐倉市HP及び公共施設での配架等、周知・啓発を実施した。
		R4	◎	見守りに関するパンフ・チラシ等を地区代表者事務説明会で配布、佐倉市HP及び公共施設での配架のほか、こうほう佐倉2/15号にて見守りに関する特集記事を掲載し、周知・啓発に努めた。
		R5		

2 認知症にやさしい佐倉の推進

(1)認知症の理解を深めるための普及・啓発

①認知症サポーター養成講座

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
53	認知症サポーター養成講座 開催回数(回)	R3	40	26	65.0%	市職員・小学校・学童保育所・自治会・まちづくり協議会・薬局・薬剤師会・民間事業所(美容室)・ボランティア・公民館事業の受講生・一般市民向けに実施しました。
		R4	40	30	75.0%	一般市民のほか市職員、小・中学生、自治会、まちづくり協議会、薬局、介護事業所、民間事業所(生協)、公民館事業の受講生を対象に実施しました。
		R5	40			
	受講者数(人)	R3	600	712	118.7%	男性304人、女性408人が受講しました。男性70歳代、女性40歳代の受講者が多かったです。
		R4	600	618	103.0%	男性251人、女性324人が受講しました。受講者の年代は10・20代が45%、30～50代が14%、60代以上が41%でした。
		R5	600			
	サポーター数(人)	R3	22,423	22,504	100.4%	平成18年からの累積値になります。
		R4	23,023	23,122	100.5%	平成18年からの累積値になります。
		R5	23,623			

②広報やリーフレットなどによる、認知症の理解促進等 ③認知症サポート医、認知症専門医による普及・啓発

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
54 広報やリーフレットなどによる、認知症の理解促進等	設定無	R3	◎	世界アルツハイマーデーに合わせ、認知症の理解促進のために風車をオレンジ色にライトアップしました。
		R4	◎	世界アルツハイマーデーに合わせ、ふるさと広場の風車をオレンジ色にライトアップしました。また市役所、JR佐倉駅構内、志津図書館、ふるさと広場売店においてポスターや作品等の展示を行いました。
		R5		
55 認知症サポート医、認知症専門医による普及・啓発	設定無	R3	○	令和4年3月に地域の専門医による地域講座を開催、市民33人が参加。
		R4	○	令和5年3月に地域の専門医による講座を実施、一般市民のほか家族や介護事業者等45人が参加。
		R5		

(2) 予防 運動不足の改善、社会的孤立の役割の保持等が認知症の予防には有効。地域において高齢者が身近に通うことができる通いの場を拡充

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
56 介護予防の総合的な推進	設定無	R3	○	通いの場の一つである「佐倉わくわく体操会」が、新規に2団体立ち上がりしました。
		R4	○	通いの場の一つである「佐倉わくわく体操会」が、新規に1団体立ち上がりしました。
		R5		

(3) 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援 ①物忘れ相談の実施

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
57 専門医等による個別相談を実施	設定無	R3	○	10回/年、26件の利用がありました。相談者の平均年齢は77歳、最高齢86歳、最年少63歳でした。
		R4	○	10回/年、35件の利用がありました。相談者の平均年齢は79.3歳、最高齢91歳、最年少68歳でした。
		R5		

②認知症初期集中支援チームの配置 ⑤認知症地域支援推進員の配置 ⑥認知症カフェの開設

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
58 認知症初期集中支援チーム	チーム数(チーム)	R3	5	5	100.0%	各包括支援センターに1チームずつ配置し初動対応を行ったほか、支援困難な事例に対応する基幹型認知症初期集中支援チーム員訪問活動モデル事業を行いました。
		R4	5	5	100.0%	各包括支援センターに1チームずつ配置し初動対応を行ったほか、支援困難な事例に対応する基幹型認知症初期集中支援チーム員訪問活動事業を行いました。
		R5	5			
59 認知症地域支援推進員	配置人数(人)	R3	5	5	100.0%	各包括支援センターに1名ずつ配置しました。
		R4	5	5	100.0%	各包括支援センターに1名ずつ配置しました。
		R5	5			
60 認知症カフェ	開催数(箇所)	R3	9	5	55.6%	5か所で開催し、開催回数54回、延べ参加者数573人でした。感染拡大時はカフェの開催にかわり個別相談や訪問を行いました。
		R4	9	5	55.6%	5か所で開催し、開催回数58回、延べ参加者数764人でした。台風により2回中止となった際は、それぞれの対象者に個別相談や訪問を行いました。
		R5	9			

③認知症連携シート「さくらバス」の積極的な活用推進 ④多職種連携研修会の開催 ⑦家族介護支援(介護者教室・介護者のつどい)の開催

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
61 認知症連携シート「さくらバス」の積極的な活用推進	設定無	R3	○	物忘れ相談で活用しました。
		R4	○	包括支援センターの相談対応及び物忘れ相談等で活用しました。
		R5		
62 多職種連携研修会の開催	設定無	R3	△	新型コロナウイルス感染症の影響もあり実施できませんでした。
		R4	○	佐倉市在宅医療・介護連携・認知症推進事業合同 多職種研修会参加者 68人(内訳Web57人、会場参加11人)
		R5		
63 家族介護支援(介護者教室・介護者のつどい)の開催	設定無	R3	○	【介護者教室】20回、291名参加【介護者のつどい】25回開催133名参加(コロナ禍で一部中止)
		R4	○	【介護者教室】20回、287名参加【介護者のつどい】36回開催206名参加(コロナ禍で一部中止)
		R5		

(4) 認知症バリアフリー、若年性認知症の人への支援、社会参加支援 ①認知症高齢者声かけ訓練の実施 ②若年性認知症の人への支援、社会参加支援 ③チームオレンジの整備 ④高齢者の虐待防止ネットワークの活用 ⑤2市1町SOSネットワーク ⑥成年後見制度利用支援

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
64 認知症高齢者声かけ訓練の実施	設定無	R3	◎	令和3年度は2団体(上志津三区自治会・下志津区)が実施した。
		R4	◎	令和4年度は5団体(ニューカリが丘一丁目自治会、并野小学校区まちづくり協議会、根郷地区社会福祉協議会、中志津自治会※志津南地区社会福祉協議会共催)が実施した。
		R5		
65 若年性認知症の人への支援、社会参加支援	設定無	R3	◎	他市で開催している若年性認知症イベント、オンラインカフェに佐倉市内の対象者を紹介し、随行しました。(包括支援センター)
		R4	○	介護者教室やオレンジカフェで千葉県若年性認知症コーディネーターを講師に招き、認知症の方や家族、一般市民の皆さんで情報を共有しました。(地域包括支援センター)
		R5		

66	チームオレンジの整備	設定無	R3	◎	認知症サポーター養成講座を修了した人を対象にステップアップ講座を開催(1コース全3回)、34人が登録しました。	
			R4	○	認知症サポーター養成講座を修了した人を対象にステップアップ講座を開催(1コース全3回)、34人が新規に登録し、全登録者数は51人になりました。	
			R5			
	67	高齢者の虐待防止ネットワークの活用	設定無	R3	◎	地域の関係機関及び庁内虐待担当部署と連携した支援の提供、情報共有、周知活動等を行った。
				R4	◎	地域の関係機関及び庁内虐待担当部署と連携した支援の提供、情報共有、周知活動等を行った。
				R5		
	68	2市1町SOSネットワーク	設定無	R3	◎	ネットワーク構成機関と連携し、認知症高齢者等の早期発見や安全確保に努めた。
				R4	◎	ネットワーク構成機関と連携し、認知症高齢者等の早期発見や安全確保に努めた。
				R5		
	69	成年後見制度利用支援	設定無	R3	◎	中核機関(佐倉市成年後見支援センター)による専門相談会、講演会を実施し、利用のための支援や普及啓発活動を行った。成年後見制度利用に係る費用の助成を行った。
				R4	◎	中核機関(佐倉市成年後見支援センター)による専門相談会、講演会を実施し、利用のための支援や普及啓発活動を行った。成年後見制度利用に係る費用の助成を行った。
				R5		

3 権利擁護と地域での見守り

(1)成年後見制度 ①成年後見制度利用支援 ②成年後見審判請求事務等

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要	
70	成年後見制度利用促進	設定無	R3	◎	中核機関(佐倉市成年後見支援センター)による専門相談会、講演会等を実施し、利用のための支援や普及啓発活動を行った。成年後見制度利用に係る費用の助成を行った。
			R4	◎	中核機関(佐倉市成年後見支援センター)による専門相談会、講演会等を実施し、利用のための支援や普及啓発活動を行った。成年後見制度利用に係る費用の助成を行った。
			R5		
71	成年後見審判請求事務等	設定無	R3	◎	親族による申立が期待できない高齢者(16人)の請求事務を実施した。
			R4	◎	親族による申立が期待できない高齢者(15人)の請求事務を実施した。
			R5		

(2)地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業) 認知症等により、生活上に問題を抱える高齢者が尊厳のある生活を維持し安心して生活が送れるよう、援助・支援に地域で連携

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要	
72	福祉サービスの利用手続きの代行など、地域と連携して支援	設定無	R3	◎	支援を必要とする方について、佐倉市社会福祉協議会へつなぐ等の利用支援を適宜実施した。
			R4	◎	支援を必要とする方について、佐倉市社会福祉協議会へつなぐ等の利用支援を適宜実施した。
			R5		

(3)高齢者の虐待防止 ①高齢者をとりまく地域における見守り意識の高揚 ②佐倉市高齢者虐待防止ネットワークの活用

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要	
73	高齢者をとりまく地域における見守り意識の高揚	設定無	R3	◎	「気づき」と「つながり」に特化したパンフ・チラシ等を作成。世帯回覧、佐倉市HP及び公共施設での配架等、周知・啓発を実施した。
			R4	◎	見守りに関するパンフ・チラシ等を地区代表者事務説明会で配布、佐倉市HP及び公共施設での配架のほか、こうほう佐倉2/15号にて見守りに関する特集記事を掲載し、周知・啓発に努めた。
			R5		
74	佐倉市高齢者虐待防止ネットワークの活用	設定無	R3	◎	地域の関係機関及び庁内虐待担当部署と連携した支援の提供、情報共有、周知活動等を行った。
			R4	◎	地域の関係機関及び庁内虐待担当部署と連携した支援の提供、情報共有、周知活動等を行った。
			R5		

(4)養護老人ホームへの適切な入所措置 心身の状況、その置かれている環境の状況等を総合的に勘案して、老人福祉法第11条の規定による入所等の措置を行う

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要	
75	養護老人ホームへの適切な入所措置等	設定無	R3	◎	在宅生活に支障がある高齢者に対し、措置入所を実施した。
			R4	◎	在宅生活に支障がある高齢者に対し、措置入所を実施した。
			R5		

4 在宅生活を支える体制の充実

(1)生活支援体制の整備 ①生活支援コーディネーターの配置

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要	
76	各地域包括支援センターに配置し、生活支援サービス提供体制整備を推進	設定無	R3	◎	介護予防活動団体への支援や地域課題の把握、地域資源の発掘、育成を推進しながら、地域の様々な主体と協議等を実施した。
			R4	◎	介護予防活動団体への支援や地域課題の把握、地域資源の発掘、育成を推進しながら、地域の様々な主体と協議等を実施した。
			R5		

②協議体の設置及び運営

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
協議体	開催数(回)	R3	20	5	25.0%	コロナ禍でも、リモート会議や感染症防止対策を講しながら実施してきたが、コロナ感染拡大の影響は大きく、目標回数には届かなかった。目標回数には届かなかったが、前年度より開催数を増加させた。また、左記の開催数のほか、主催以外の協議体(自治会・地域団体等にこちらから出向いて実施したもの)を33回開催した。
		R4	20	14	70.0%	
		R5	20			

(2)地域ケア会議の推進

①地域ケア個別会議の実施 ②地域ケア推進会議の実施 ③介護予防のための地域ケア個別会議の取組強化

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
地域ケア個別会議の実施	設定無	R3	○	個別事例に関する自立した生活のための支援方法や支援が困難な事例の検討を72回実施しました。
		R4	◎	個別事例に関する自立した生活のための支援方法や支援が困難な事例の検討を74回実施しました。
		R5		
地域ケア推進会議の実施	設定無	R3	○	個別事例の困りごとから地域課題を抽出し、解決策について話し合う地域ケア圏域推進会議を12回開催しました。
		R4	◎	個別事例の困りごとから地域課題を抽出し、解決策について話し合う地域ケア圏域推進会議を10回、市全体で課題解決に向けて検討する地域ケア推進会議を1回開催しました。
		R5		
介護予防のための地域ケア個別会議の取組強化	設定無	R3	○	包括向け「地域個別ケア会議」勉強会を3回、介護支援専門員、保健・医療専門職向け「介護予防のための地域ケア個別会議(自立支援型)研修会」を1回、助言者向け研修会を1回実施しました。
		R4	○	介護支援専門員、保健・医療専門職向け「介護予防のための地域ケア個別会議(自立支援型)研修会」を1回実施しました。
		R5		

5 高齢者が暮らしやすい住環境の整備

(1)福祉のまちづくり推進

①福祉のまちづくりの推進 ②公共公益施設等の整備におけるユニバーサルデザイン化の推進

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
福祉のまちづくりの推進	設定無	R3	○	バリアフリー法、県福祉のまちづくり条例や市総合計画のもと、各種事業を推進している。
		R4	○	バリアフリー法、県福祉のまちづくり条例や市総合計画のもと、各種事業を推進している。
		R5		
公共公益施設等の整備におけるユニバーサルデザイン化の推進	設定無	R3	○	バリアフリー法、県福祉のまちづくり条例や市総合計画のもと、だれもが円滑に利用できるユニバーサルデザインによる施設整備等に取り組んでいる。
		R4	○	バリアフリー法、県福祉のまちづくり条例や市総合計画のもと、だれもが円滑に利用できるユニバーサルデザインによる施設整備等に取り組んでいる。
		R5		

(2)安心して利用できる交通基盤の整備

①道路整備 ②公共交通の整備 ③交通安全の推進 ④移動が困難な高齢者に対する支援

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
道路整備	設定無	R3	○	市総合計画のもと、土木部が主管となり、各種事業を推進しています。高齢者等が安心安全に移動できるよう、幹線道路の整備を進めています。
		R4	○	市総合計画のもと、土木部が主管となり、各種事業を推進しています。高齢者等が安心安全に移動できるよう、幹線道路の整備を進めています。
		R5		
公共交通の整備	設定無	R3	◎	市総合計画のもと、都市部が主管となり、各種事業を推進しています。コミュニティバスの新路線(1路線)の運行を開始しました。
		R4	◎	市総合計画のもと、都市部が主管となり、各種事業を推進しています。コミュニティバス(5路線)の運行を継続しました。
		R5		
交通安全の推進	設定無	R3	○	市総合計画のもと、土木部が主管となり、各種事業を推進しています。区画線補修、街灯設置、道路反射鏡設置、通学路安全対策を実施し、交通事故の防止を図るとともに、交通安全の促進を図っています。
		R4	○	市総合計画のもと、土木部が主管となり、各種事業を推進しています。区画線補修、街灯設置、道路反射鏡設置、通学路安全対策を実施し、交通事故の防止を図るとともに、交通安全の促進を図っています。
		R5		
移動が困難な高齢者に対する支援	設定無	R3	◎	福祉有償運送運営協議会を1回開催しました。福祉有償運送の必要性、新規登録申請1件、再登録申請1件について協議しました。
		R4	◎	福祉有償運送運営協議会を2回開催しました。福祉有償運送の必要性、新規登録申請1件(事後取り下げ)、再登録申請3件について協議しました。
		R5		

(3)高齢者が生活しやすい住まいの整備

①市営住宅の改修 ②高齢者に配慮したまちづくり・住宅づくりの誘導 ③介護保険サービスにおける住宅改修費支給 ④高齢者の住まいに関する情報提供、相談活動 ⑤高齢者施設の整備方針について

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
市営住宅の改修	設定無	R3	○	市営住宅の風呂釜の修繕・交換に合わせて、浴槽のバリアフリー化を図りました。
		R4	○	市営住宅の風呂釜の修繕・交換に合わせて、浴槽のバリアフリー化を図りました。
		R5		
高齢者に配慮したまちづくり・住宅づくりの誘導	設定無	R3	◎	1:「バリアフリー法」や「千葉県福祉のまちづくり条例」に基づき、高齢者等に配慮した住宅づくりを推進するよう、建築主に対して要請・指導を行いました。 2:有料老人ホームの整備については、当該計画(第8期の施設整備計画)に基づき、施設整備法人の公募を実施し、1施設の整備法人を決定いたしました。
		R4	○	「バリアフリー法」や「千葉県福祉のまちづくり条例」に基づき、高齢者等に配慮した住宅づくりを推進するよう、建築主に対して指導・助言を行いました。
		R5		

89	介護保険サービスにおける住宅改修費支給	設定無	R3	◎	自宅内での生活に支障が無いように、対象となる改修を行った場合の改修費用を支援した。
			R4	◎	自宅内での生活に支障が無いように、対象となる改修を行った場合の改修費用を支援した。
			R5		
90	高齢者の住まいに関する情報提供、相談活動	設定無	R3	○	空き家バンク制度などの活用による情報提供及び佐倉市住宅相談協議会との連携による相談活動を行いました。
			R4	○	空き家バンク制度などの活用による情報提供、市営・県営住宅・セーフティネット住宅に関する情報提供及び佐倉市住宅相談協議会との連携による相談活動を行いました。
			R5		
91	高齢者施設の整備方針について	設定無	R3	○	第8期の施設整備計画のもと、施設整備法人の公募を実施し、1施設の整備法人を決定した。
			R4	○	定期巡回、看護小規模多機能型居宅介護施設について公募を実施し、整備法人を決定した。
			R5		

6 地域包括支援センターの運営

(1) 安定した事業運営

① 地域包括支援センターの設置

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
92 地域包括支援センター	設置数(か所)	R3	5	5	100.0%	市内5つの生活圏域に1か所ずつ地域包括支援センターを設置し運営している。
		R4	5	5	100.0%	市内5つの生活圏域に1か所ずつ地域包括支援センターを設置し運営している。
		R5	5			

② 専門職の配置

○ 【ア 第1号被保険者(65歳以上高齢者)数が6,000人未満の場合】

第1号被保険者 (65歳以上の高齢者)	職種及び職員数		
	保健師・看護師	社会福祉士	主任介護支援専門員
概ね1,000人未満	3職種のうち1～2名		
1,000人～1,999人	3職種のうち2名		
2,000人～2,999人	1名	いずれか1名	
3,000人～5,999人	1名	1名	1名

【イ 第1号被保険者(65歳以上高齢者)数が6,000人以上の場合】

圏域の高齢者人口及び面積を考慮し、3職種の数を定めます。

○ 配置基準

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
93 志津北部地域包括支援センター職員配置人数	3職種(人)	R3	7	7	100.0%	計画どおり配置することができた。
		R4	7	7	100.0%	計画どおり配置することができた。ただし、保健師を配置することができなかった。
		R5	7			
	その他職員(人)	R3	2	2	100.0%	計画どおり配置することができた。
		R4	2	2	100.0%	計画どおり配置することができた。
		R5	2			
94 志津南部地域包括支援センター職員配置人数	3職種(人)	R3	6	6	100.0%	計画どおり配置することができた。ただし、保健師を配置することができなかった。
		R4	6	6	100.0%	計画どおり配置することができた。ただし、保健師を配置することができなかった。
		R5	6			
	その他職員(人)	R3	2	2	100.0%	計画どおり配置することができた。
		R4	2	2	100.0%	計画どおり配置することができた。
		R5	2			
95 臼井・千代田地域包括支援センター職員配置人数	3職種(人)	R3	7	7	100.0%	計画どおり配置することができた。
		R4	8	8	100.0%	計画どおり配置することができた。
		R5	8			
	その他職員(人)	R3	2	2	100.0%	計画どおり配置することができた。
		R4	2	2	100.0%	計画どおり配置することができた。
		R5	2			
96 佐倉地域包括支援センター職員配置人数	3職種(人)	R3	6	6	100.0%	計画どおり配置することができた。
		R4	6	6	100.0%	計画どおり配置することができた。
		R5	6			
	その他職員(人)	R3	2	2	100.0%	計画どおり配置することができた。
		R4	2	2	100.0%	計画どおり配置することができた。
		R5	2			

97	南部地域包括支援センター職員配置人数	3職種(人)	R3	6	6	100.0%	計画どおり配置することができた。ただし、保健師を配置することができなかった。
			R4	6	6	100.0%	計画どおり配置することができた。ただし、保健師を配置することができなかった。
			R5	6			
		その他職員(人)	R3	2	2	100.0%	計画どおり配置することができた。
			R4	2	2	100.0%	計画どおり配置することができた。
			R5	2			

(2)多様な相談体制(総合相談)	98	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要							
									総合相談	相談件数(件)	R3	5,031	5,120	101.8%	コロナ禍が続く中でも、感染者数の減少時期や自粛緩和等により、令和2年度(4,688件)から増加したものと考えている。
											R4	5,121	5,990	117.0%	コロナの自粛緩和により、件数が増加したものと考えている。
											R5	5,213			

(3)専門職による介護支援専門員の支援体制	99	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要							
									介護支援専門員相談件数	相談件数(件)	R3	580	919	158.5%	感染者数の減少時期や自粛緩和等により、利用者の動きも出てきた結果、ケアマネジャーからの相談件数が増加したものと考えている。
											R4	580	1,098	189.4%	コロナの自粛緩和により、介護保険サービスの利用希望等が増えたことで相談件数が増加したものと考えている。
											R5	580			

(4)圏域間の連携	100	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要							
									連携会議	会議回数(回)	R3	20	18	90.0%	管理者会議10回、ケース検討会議8回。対面会議の他、リモート会議や書面会議等、感染予防対策を講じながら実施した。
											R4	20	19	95.0%	管理者会議10回、ケース検討会議9回。感染予防対策を講じながら実施した。
											R5	20			

(5)地域包括支援センターの事業評価	101	取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要				
							設定無	R3	◎	市及び各センターの事業評価の結果を基に、次年度の運営方針を作成した。
								R4	◎	市及び各センターの事業評価の結果を基に、次年度の運営方針を作成した。
								R5		

7 災害・感染症対策の推進

(1)災害への対応	102	取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要				
							高齢者施設の整備方針について	R3	○	市地域防災計画のもと、主に危機管理部が主管となり、調査・連携事業を推進している。
								R4	○	市地域防災計画のもと、主に危機管理部が主管となり、調査・連携事業を推進している。
								R5		
							在宅避難者への対応	R3	○	市地域防災計画のもと、主に危機管理部が主管となり、調査・連携事業を推進している。
								R4	○	市地域防災計画のもと、主に危機管理部が主管となり、調査・連携事業を推進している。
R5										

(2)感染症等による健康危機への対応	104	取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要				
							設定無	R3	○	主に健康推進部が主管となり、情報把握・各所属との連携、広報等による周知や啓発を行っている。担当課においては各施設等への周知を図っている。
								R4	○	情報把握・各所属との連携、広報等による周知や啓発を行っている。担当課においては各施設等への周知を図っている。
								R5		

第3章「医療・介護」～いつまでも自分らしく生きるために～

1 在宅医療・介護の連携と推進

(1)医療・介護連携における課題の把握と対応策の検討	105	住み慣れた地域で継続して日常生活を営めるよう、地域の医療・介護関係者へのヒアリングや実態把握を行い、対応策を検討				
		取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
		設定無		R3	◎	「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」ポイントについて勉強会を実施 地域包括支援センターへ調査を実施し、連絡会議において多職種連携について共有、検討しました。
在宅医療・介護連絡会議において対応等を検討	R4	◎				
	R5					
(2)医療・介護関係者に対する相談体制の構築	106	地域の医療介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談に応じ、必要な情報の提供及び助言等、必要な援助を行う				
		取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
		設定無		R3	◎	各包括支援センターに相談窓口を設けました。市の窓口としては高齢者福祉課の専門職が対応できるよう配置しました。 各地域包括支援センターが相談窓口となり、必要な方に情報提供及び援助を行いました。
必要な情報の提供、助言、援助	R4	◎				
	R5					
(3)地域住民への普及啓発	107	自らが必要なサービスを適切に選択できるよう在宅医療と介護の学習会等を開催、「わたしらしく生きるを支える手帳」の普及・活用				
		取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
		設定無		R3	○	出前健康教育のメニューとして勉強の場を設けましたが、実績がありませんでした。包括支援センター、郵便局、医療機関等の窓口を設置し希望者が手に入れやすい環境を整えました。 出前健康教育のメニューとして勉強の場を設けましたが、実績がありませんでした。郵便局、医療機関等窓口での配布は継続しています。地域包括支援センターにおいて、もしばなカードを活用した講座を2地区で開催しました。
学習会や講演会の開催、手帳の普及や啓発	R4	○				
	R5					
(4)切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築・推進	108	医療・介護関係者が速やかに情報共有する体制の整備。多職種が連携するための事例検討会等を開催し、顔の見える関係を構築				
		取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
		設定無		R3	◎	多職種研修会「医療と介護の連携 ～行政・薬局・病院の取り組み～」を1回実施 80名参加しました。 佐倉市在宅医療・介護連携・認知症推進事業合同 多職種研修会参加者 68人(内訳Web57人、会場参加11人)
多職種が連携する研修会や事例検討会の開催	R4	◎				
	R5					

2 介護保険制度の適正な運営

(1)介護保険サービスの推進	①事業所の整備 ②事業者への支援 ③共生型サービスの円滑な導入						
	取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要		
	109 事業所の整備	設定無	R3	◎	特定施設入居者生活介護1施設が開設		
R4			○	定期巡回、看護小規模多機能型居宅介護施設整備法人の公募を実施し、整備法人を決定した。			
R5							
110 事業者への支援	設定無	R3	◎	介護サービス事業所におけるPCR検査費用の補助(全事業所)感染対応支援金(入所・入居施設のみ)			
		R4	◎	R3同様新型コロナウイルス感染症緊急支援事業による支援のほか、介護施設等に対し物価高騰対策支援金を支給			
		R5					
111 共生型サービスの円滑な導入	設定無	R3	◎	県の介護施設整備交付金の共生型サービス事業所の整備推進事業を利用し、介護ベッドを導入した事業所へ補助金を交付			
		R4	△	共生型サービス事業所への移行について相談を受けた。			
		R5					
(2)介護保険制度の円滑な運営や給付の適正化	①サービスの質の担保						
	112 サービスの質の担保	集団指導回数(回)	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
			R3	2	1	50.0%	zoomにて実施するとともに、参加できない事業所向けに市HPにて資料を掲載
			R4	2	1	50.0%	zoomにて実施するとともに、参加できない事業所向けに市HPにて資料を掲載
		R5	2				
		実施指導回数(回)	R3	20	9	45.0%	居宅介護支援事業所:1事業所 地域密着型サービス事業所:8事業所
			R4	20	18	90.0%	居宅介護支援事業所:7事業所 地域密着型サービス事業所:11事業所
	R5		20				
	②適切な要介護認定の推進						
	113	取組名		指標名	年度	進捗	事業に対する概要
設定無			R3	◎	介護認定審査会のリモート開催を導入実施。調査員の雇用を確保し、安定した調査体制を整備。		
迅速な認定体制の整備、電子化等による事務効率化			R4	◎	介護認定審査会のリモート開催を導入実施。調査員の雇用を確保し、安定した調査体制を整備。		
			R5				

③介護給付適正化事業の推進

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
114 適正化主要5事業の実施数	事業数(事業)	R3	5	5	100.0%	効率的なケアプランチェックを進めるため、令和3年度からシステムを導入
		R4	5	5	100.0%	主要5事業実施済
		R5	5			

④低所得者等の負担軽減

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
115 利用者負担軽減制度の活用促進や個別制度の周知	設定無	R3	◎	社会福祉法人等による利用者負担軽減制度の利用、高額介護サービス費の支給、負担限度額認定等の事務を適切に執行
		R4	◎	社会福祉法人等による利用者負担軽減制度の利用、高額介護サービス費の支給、負担限度額認定等の事務を適切に執行
		R5		

(3)介護サービスの質の向上

①苦情相談体制の充実 ②介護相談員派遣事業の実施 ③介護人材の確保と資質の向上 ④介護従事者への支援と業務効率化

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
116 苦情相談体制の充実	設定無	R3	○	国保連や高齢者福祉課・地域包括支援センターと情報共有し、連携して解決を図るとともに、ケースによっては県にも情報提供
		R4	◎	国保連や高齢者福祉課・地域包括支援センターと情報共有し、連携して解決を図るとともに、ケースによっては県にも情報提供、高齢者福祉課とともに指導監査を1施設に実施
		R5		
117 介護相談員派遣事業の実施	設定無	R3	◎	コロナ禍で受け入れ施設が減少。受け入れ困難な施設には入居者や家族向けに相談先を掲載したチラシを作成し、配布、施設内掲示を依頼した。
		R4	◎	前年度と比較し受け入れ施設数は変化無いものの相談件数は増加した。
		R5		
118 介護人材の確保と資質の向上	設定無	R3	○	介護人材の確保に繋がるよう、介護職員初任者研修を実施し、19名が終了。内16名は市内施設に勤務しています。また、各事業所へ研修情報等の情報提供を実施している。
		R4	○	介護職員初任者研修を実施し、21名が終了。内13名は市内施設に勤務。なお、求職を希望する施設パンフレットを修了生に配布。また、各事業所へ研修情報等の情報提供を実施している。
		R5		
119 介護従事者への支援と業務効率化	設定無	R3	○	新たに1事業所に介護職員処遇改善加算の取得を促し、計画書作成を援助した。
		R4	◎	介護職員処遇改善計画について周知、申請受付。介護ロボット・ICTを導入した施設に補助金を交付。
		R5		

(4)介護保険などに関する情報の提供・周知啓発

①介護保険や福祉制度に関する情報の提供 ②介護サービス事業者に関する情報の提供

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
120 介護保険や福祉制度に関する情報の提供	設定無	R3	◎	地域資源ブックを市役所や各包括支援センター等で配架した。また、市HPに掲載し周知を図った。また、介護給付サービスガイドやリーフレットを作成・配布した。
		R4	◎	地域資源ブックを市役所や各包括支援センター等で配架した。また、市HPに掲載し周知を図った。また、介護給付サービスガイドやリーフレットを作成・配布した。
		R5		
121 介護サービス事業者に関する情報の提供	設定無	R3	◎	厚労省「介護サービス情報公開システム」、千葉県「ちば福祉ナビ」及びサービス提供事業所一覧を随時更新しHPにて掲載
		R4	◎	厚労省「介護サービス情報公開システム」、千葉県「ちば福祉ナビ」及びサービス提供事業所一覧を随時更新しHPにて掲載
		R5		

4. 高齢者いきいき応援事業 実施報告書

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業)

1. 事業概要

①事業の目的

コロナ禍により、高齢者が外出を控え閉じこもり状態になることで、心身機能が低下することを防止するため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、高齢者の外出支援と介護予防につなげるため、「高齢者いきいき応援事業」を実施しました。

②事業の期間

令和4年10月1日(土) から 令和5年1月31日(火) まで

③事業の内容

対象者にフレイル予防と高齢者福祉に関する啓発パンフレットに加え、「必ず当たる!! 佐倉の味りピートスクラッチ」登録店で使える食事利用券(1,000円/人)を同封し送付。

- (送付物)
- ・パンフ「いつの間にか忍び寄ってくる!? 「フレイル」にご注意!!」
 - ・パンフ「毎日実践!フレイル予防運動」
 - ・情報紙「住み慣れた地域で自分らしく暮らすための情報紙」

④対象者及び対象人数

- ・令和4年度中に75歳以上となる高齢者で、令和4年9月1日現在に佐倉市に住民登録がなされている方 対象者 計 31,646人

2. 結果の概要

①食事利用券の利用状況

- ・利用枚数 46,852枚
- ・利用率 74.1%

②各種事業への申込件数・問合せ件数

(1)介護予防事業への申込件数	項目	申込件数
	脳と体の元気力測定会	66件
	物忘れ相談	11件
計		77件

(2)福祉サービスに関する問合せ件数	項目	問合せ件数
	配食サービス	4件
	高齢者台帳	6件
	緊急通報	13件
計		23件

③執行額の内訳額

項目	金額	備考
執行額	7,322,309円	
コロナ交付金額	6,941,417円	
差し引き	380,892円	一般会計からの支出分